



2026～27 年度
国際ロータリー会長
オラインカ・ハキーム・ババロラ

Weekly Report Niigata

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Rotary



2026～27 年度
新潟ロータリークラブ会長

坂井 賢一

新潟 RC 8 月第 2 例会 (2026.8.18) No.3614

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 会長の時間（坂井 賢一会長）

「戦争に勝ち負けはない。滅びだけである」
ー永井隆博士の言葉から平和を考えるー

8 月は、日本にとって「戦争と平和」を改めて考える月です。

広島への原爆投下は 1945 年 8 月 6 日、そして日本がポツダム宣言の受諾を国民に伝えたのが同年 8 月 15 日です。わずか 10 日ほどの間に日本の歴史を大きく変えた出来事が集中しています。

13 年前、「長崎市永井隆記念館」に行った時の思い出の話をしてもらいます。

「戦争に勝ち負けはない。滅びだけである。」

これは、医学博士・永井隆の言葉です。

私は、この短い言葉ほど、戦争の本質を表している言葉はないのではないかと思います。

私たちは戦争というと、「勝った国」「負けた国」という歴史を学びます。

しかし、永井博士はそうではありませんでした。

博士は長崎医科大学の放射線医学の医師として働いていましたが、1945 年 8 月 9 日、長崎に原子爆弾が投下され、自らも重傷を負います。

さらに最愛の妻・緑さんを原爆で失いました。

医師として多くの負傷者を診療しながら、自分自身も被爆による白血病と闘うことになります。

そのような壮絶な体験をした人だからこそ、

「戦争に勝ち負けはない。滅びだけである。」

という言葉には、他の誰にも語れない重みがあります。この言葉の意味を考えると、戦争には確かに勝者と敗者が存在するように見えます。

しかし、本当に勝った人はいるのでしょうか。

勝った国でも、多くの若者が命を失います。

家族を失う人がいます。

心に深い傷を負う人がいます。

町は破壊され、文化も失われます。

そして戦争が終わった後も、憎しみや悲しみは何十年も残ります。

負けた国はもちろんですが、勝った国にも深い傷跡が残るのです。

だから永井博士は、「勝利」ではなく、「滅び」という言葉を選びました。

これは国家ではなく、人間の命を見つめた言葉なのです。

私は、この言葉は現代にもそのまま当てはまると思います。

世界では今も戦争が続いています。

テレビでは戦況が毎日のように報道されます。

しかし、その映像の向こうには、避難する子どもたちや家族を失った人々がいます。

もし永井博士が今の世界をご覧になったら、きっと同じ言葉を語られるのではないのでしょうか。

「戦争に勝ち負けはない。滅びだけである。」

と。

ロータリーも、「平和の推進」を重点分野の一つとしています。

対話を重ね、互いを理解し、違いを認め合うこと。

教育や医療、貧困の解決を通して争いの原因を減らすこと。

こうした地道な活動こそが、本当の平和づくりだと考えています。

永井博士もまた、憎しみではなく、許しと愛を語り続けました。

自分が被害者でありながら、復讐ではなく平和を願った姿勢には、深く心を打たれます。

私は、この言葉にはもう一つの意味があると思います。

それは、「人間の命は、どんな国家の利益よりも重い」ということです。

国家には勝敗があります。

しかし、人の命には勝ち負けはありません。

失われた命は戻ってきません。

だからこそ、戦争を始めない努力を続けることが何より大切だと思います。

最後に、私たちロータリアンができることは何でしょうか。

ロータリーには、「超我の奉仕」という理念があります。

自分の利益よりも、人の幸せを考える心です。

その積み重ねこそが、争いを減らし、平和につながる第一歩になるのではないのでしょうか。

永井隆博士は、自らの人生を通して、
「戦争は誰も幸せにしない。」
という真実を私たちに残してくださいました。
だからこそ、私たちはこの言葉を決して過去のものとして終わらせてはいけないと思います。
「戦争に勝ち負けはない。滅びだけである。」
この言葉を胸に、未来の子どもたちへ平和な世界を引き継ぐ努力を続けていきたいと思います。
今年度のテーマでもありますように、「人と人との絆を大切に、共に歩む」ことが大事だと思います。
ご清聴ありがとうございました。

(3) ビジターの紹介

Dr. Wolfgang Bockhold
(RC Friedberg in Bayern)

(4) 千葉 辰也社会奉仕委員長報告

下記内容で海岸清掃を実施致します。お申込みまだ、
受け付けておりますので、是非、ご参加下さい。

期 日 2026年8月22日(土)

集合場所 店名 Sea Point

新潟市中央区関屋1-24 電話 025-233-6605

時 刻 集 合 午後4時

清掃時間 午後4時～午後4時50分まで

清掃終了後、午後5時ころからBBQでの懇親会

(5) 大澤 強野球部キャプテン報告

*内容は別紙に記載いたしました。

(6) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(桜井 広利副委員長)

高橋 秀松君 本多 晃君

桜井 広利君

米山奨学会寄付発表(石川 治彦委員長)

島田 好久君 織戸 潔君

石川 治彦君

青少年育成基金寄付発表(大桃 典和副委員長)

坂井 賢一君 本間 彊君

(7) ニコニコボックス紹介(江波 恒夫副委員長)

・本間 彊君 ボックホルトさんをお迎えして。
以前ドイツ大使館に勤務されていた頃、地区青少年交換
の夏期交換チームの講師をお願いした方です。奥様は
新潟市の出身の方で新潟にご縁の深い方です。

・佐藤 明君 マリンピア日本海 野村館長においで
いただきました。ニコニコです。

・高橋 秀松君 孫が、やっと帰って行きました。
肉体的に、もうクタクタです。

・高橋 智尚君 7月のゴルフ同好会で優勝できた
のでニコニコします。

(8) 卓話「水族館の裏舞台は一飼育係のお仕事」

新潟市水族館・マリンピア日本海

館長 野村 卓之 氏



(9) 8月18日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
80	80	58	72.50%

Zoom 参加 4名

8月25日の例会プログラム

卓話「未来へ挑む新潟のラグビー」

ージャパン×カナダ戦を前にー

新潟県ラグビーフットボール協会

理 事 上杉 恒彦 氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

大澤野球同好会キャプテン報告

8月5日（水）「旧新潟市内7RC親善野球大会」幹事会がありましたので、報告いたします。
今年のホストクラブは新潟東RCとなります。抽選の結果、幸運にも他クラブも狙っていた「7」を若槻同好会幹事がみごとに引当てました！（以下のトーナメント表を参照ください）
昨年の大会は・第1試合VS新潟中央RCー勝利、2回戦VS新潟西RCー負けという結果（ベスト4）でしたが、今年は抽選によるシードを獲得、既にベスト4となりました。新潟北RCさんと新潟南RCさん（ともにAクラス）の勝者と対戦します。前年との違いは退会された選手が5名と多いということです（選手名省略）。そのため、新たに入会された皆さんからの参加をお願いいたします。追って、本多監督、同行会関係者からお声かけさせていただきますので、是非参加をお願い申し上げます。ケガ無く、親睦を深める「7RC野球大会」を楽しみましょう。

2026年度大会トーナメント表

2026年10月3日（土）

会場 黒埼地区野球場（2面）

優勝

